

つやま歴史塾 を開催しました。

津山の素晴らしい文化財などを見て、聞いて、調べて、その歴史を探検する『つやま歴史塾』。今年度は津山城や城下町の歴史をテーマに3回講座を開催しました。暑い時期の開催でしたが、江戸時代に描かれた絵図を手に鶴山公園や城下町を実際に歩き、津山の歴史に思いをはせました。

にちじ	プログラム	参加者数
6/9(土) 10時～12時	「城づくりと城下町づくり」 大名はなぜ城と城下町をつくったのか？城とは何か。城下町とは何か。その歴史を考えてみよう。	21人
7/21(土) 10時～12時	「津山城を探る」 実際に津山城を歩き、攻めるときや守るときの立場になりながら、様々な石垣の持つ意味や不思議を探ってみよう。	18人
8/18(土) 10時～12時	「城下町を探る」 城下町を探検しながら、道踏の配置や町の形、排水路の様子など、城下町の仕組みと暮らしの関係を探ってみよう。	18人

- 講師：尾島 治さん（前津山郷土博物館長）
- 会場：津山城（山下）、津山観光センター（山下）、城下町
- 対象：小学5年生～中学生までの親子



参加した子どもたちの感想

【第1回】

- ・350年前の地図で現在の町を歩くことができることに驚いた。教科書に載っていない地元の歴史を知ることで、津山にもっと関心を持つことができた。山地に城を建てるなど、土地の特長を活かして城を建てることを知りおもしろかった。
- ・昔は今と違って、敵に倒されないためにいろいろな知恵を出して、お城を作ったんだなと思った。もっと津山城のことを知りたい。
- ・津山の町の名前や道は今とほぼ変わらないことがわかった。お堀の横の長さが長くてびっくりした。石垣の石が昔のものと、時代が新しいものが見分け方がわかった。
- ・いろいろな村があったからびっくりした。上級家臣や中級家臣があったことを初めて知った。
- ・昔のままの地形がそのまま残っているのがすごいと思った。時代に合わせて城も変わっていることがわかった。津山城の復元模型を作りたい。

【第2回】

- ・津山にはすごい人たちや技術がたくさんあったことがわかった。
- ・学校でもいろいろな歴史の人物などを勉強したけれど、津山の歴史のことは勉強していないので、いろいろなことが聞けて良かったと思った。
- ・津山に住んでいるけど、自分の知らないことばかりで驚いた。昔の建築技術がとても高くて驚いた。
- ・塩は人間にとって大切なものであることを知ったし、お城のいろいろなところにやぐらがあることがわかった。
- ・石段の幅が変わったというお話がおもしろかった。

【第3回】

- ・いろいろなことを知れて良かった。自分の家のことを調べてみたい。
- ・昔の道や昔の堀などが、ほとんど変わってしまっているので、もうちょっと残してほしいと思った。でも、残してしまっていたら、ぼくたちの生活はどうになってしまうのかということを考えたら楽しかった。
- ・実際に歩いて、350年前の城下町がわかった。竹藪の石垣が今も残っていることがわかった。
- ・昔の排水路や道路の形が、今も変わらずその形を残していることに驚いた。
- ・昔、掘だった場所がわかった。城下町とは、城の下にある町を短くした言葉だとわかった。

